内申アップチェックリスト

通知表の「3つの観点」ごとに、今日からできることを18項目にまとめました

通知表の評価（評定）は、テストの点数だけで決まるわけではありません。
中学校では、次の3つの観点で学習の様子が評価されています。
1. 知識・技能　2. 思考・判断・表現　3. 主体的に学習に取り組む態度
つまり、毎日の授業・提出物・振り返りも、評価の大事な材料です。
月に1回、お子さんと一緒にチェックしてみてください。

※評価の方法や、何をどのくらい重視するかは、学校や先生によって異なります。年度初めに配られる「評価の観点」のプリントや、面談で確認するのが確実です。

1. 知識・技能

主にテストや小テストで見られます

- [ ] 授業のあったその日のうちに、ノートを見返している
- [ ] ワーク・問題集を、テスト範囲表が出る前に1周している
- [ ] 間違えた問題に印をつけ、もう一度解き直している
- [ ] 小テスト（単語・漢字・計算など）を準備してから受けている
- [ ] 実技教科（音楽・美術・保健体育・技術家庭）のペーパーテストも対策している

2. 思考・判断・表現

記述問題・発表・レポートなどで見られます

- [ ] テストの記述問題を空欄にせず、自分の言葉で書いている
- [ ] 授業の発表や話し合いで、自分の考えを言えている
- [ ] レポート・作文・感想文に、理由や根拠を書いている
- [ ] 数学の途中式や考え方を省略せずに書いている

3. 主体的に学習に取り組む態度

提出物・振り返り・授業の様子などで見られます

- [ ] 提出物を期限までに出している（目安は期限の前日）
- [ ] 提出物の空欄をなくし、丸つけと直しまでしている
- [ ] 振り返りシートに「できなかったこと」と「次にどうするか」を書いている
- [ ] 分からない所を、自分から先生に質問している
- [ ] 教科書・ノート・提出物の忘れ物をしていない

4. 保護者ができること

- [ ] 年度初めに配られる「評価の観点・評価方法」のプリントを、一緒に確認した
- [ ] 提出物の締切を、家族のカレンダーで共有している
- [ ] 通知表を受け取ったら、評定（5段階）だけでなく、観点ごとの評価（A・B・Cなど）も見ている
- [ ] 面談で「どこを伸ばせば評定が上がりそうか」を先生に聞いている

地域によっては、高校入試で実技教科の内申が重く扱われることがあります。お住まいの地域の入試の仕組みも、一度確認しておくと安心です。